



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社アトラエ 上場取引所 東
 コード番号 6194 URL http://atrae.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 新居 佳英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 梅村 芳延 TEL 03-6435-3210
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	1,346	44.5	454	66.1	451	73.0	311	78.7
28年9月期第3四半期	932	-	273	-	260	-	174	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	80.25	72.93
28年9月期第3四半期	49.73	44.76

- (注) 1 当社は、第3四半期の業績開示を平成28年9月期から行っているため、平成28年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2 当社は、平成28年6月15日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成28年9月期3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から平成28年9月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 3 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、平成28年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	1,719	1,497	87.1
28年9月期	1,409	1,153	81.9

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 1,497百万円 28年9月期 1,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
29年9月期	-	0.00	-	-	-
29年9月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,768	34.7	491	26.1	485	29.1	335	32.7	86.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、平成29年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、「添付資料」P. 5 「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年9月期3Q	3,888,300株	28年9月期	3,877,800株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	420株	28年9月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年9月期3Q	3,885,566株	28年9月期3Q	3,509,682株

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、平成28年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(会計上の見積りの変更)	5
(セグメント情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和により緩やかな回復基調で推移しております。しかしながら、国内ではTPP承認案及び関連法案が国会で可決される一方、海外では英国の欧州連合(EU)離脱決定、中国をはじめとした新興国の景気減速懸念、さらには米国においてはトランプ政権の誕生により、株式市場及び為替相場は乱高下し、先行きに不透明な状況が続いています。

このような経済環境の中、当社が事業展開を行っているHR領域におきましては、労働需給が改善されており、有効求人倍率は着実に上昇し、失業率は緩やかな低下傾向を示しております。また、求人企業の多くが属するインターネット業界は、人工知能やIoTに関連した様々なサービスが生まれており、ITエンジニアやWebデザイナーといった人材の需要は増加傾向にあります。これに関連して、2015年度の人材紹介業市場は前年度比113.5%の2,100億円と6年連続のプラス成長であり、2016年度は前年度比109.5%の2,300億円と引き続き拡大が予測されています。

(株式会社矢野経済研究所「人材ビジネス市場に関する調査(2016年)」)。

上記事業環境の中で、当社成功報酬型求人メディアGreenにおきましては、前事業年度に引き続き、求人企業と求職者のマッチング効率向上のためのコンテンツの拡充、ビッグデータ解析によるレコメンド精度の向上をはじめ、登録者数の増加施策としてWebマーケティングの強化、新規登録求人企業獲得強化のための施策など、様々な取り組みを実施しております。

これらの施策の結果、当第3四半期累計期間の新規登録求人企業は494社、入社人数は1,435人となりました。

一方、Greenに次ぐ新規事業として、組織改善プラットフォーム「wevox」及びビジネスパーソンのマッチングアプリ「yenta」を立ち上げております。wevoxは本年5月の正式リリース以降、本四半期決算短信提出日現在、利用企業数は既に100社を突破し、順調なスタートを切っております。また、yentaについては、平成29年3月に一部の個人ユーザーに対し有料プランの提供を開始いたしました。なお、yentaには、従来より開発・サービス提供を行っているタレントマイニングサービス「TalentBase」の技術を一部活用しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,346,964千円(前年同期比44.5%増)、営業利益は454,082千円(前年同期比66.1%増)、経常利益は451,018千円(前年同期比73.0%増)、四半期純利益は311,833千円(前年同期比78.7%増)となりました。

売上高の内訳は、Greenによる売上高が1,342,872千円(前年同期比44.5%増)、新規事業による売上高が4,092千円(前年同期比48.8%増)であります。

なお、当社は、HR事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は1,719,307千円となり、前事業年度末に比べ310,247千円増加しました。これは主に、現金及び預金が178,049千円増加、売掛金が18,813千円、本社施設の増床工事に伴う有形固定資産が72,009千円、特定譲渡制限付株式交付等により流動資産のうちその他が10,629千円、投資その他の資産が14,428千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は221,415千円となり、前事業年度末に比べ34,283千円減少しました。これは主に未払法人税等が37,323千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,497,892千円となり、前事業年度末に比べ344,531千円増加しました。これは主に、特定譲渡制限付株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ16,537千円増加、並びに四半期純利益の計上により利益剰余金が311,833千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月10日に発表いたしました平成29年9月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,263,783	1,441,832
売掛金	75,192	94,006
貯蔵品	540	420
その他	18,702	29,331
貸倒引当金	△1,632	△2,041
流動資産合計	1,356,585	1,563,549
固定資産		
有形固定資産	1,508	73,518
無形固定資産	-	16,845
投資その他の資産	50,965	65,394
固定資産合計	52,474	155,758
資産合計	1,409,060	1,719,307
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,902	2,127
未払金	88,926	98,616
未払法人税等	119,553	82,230
未払消費税等	37,471	25,342
売上返金引当金	394	530
その他	7,450	12,568
流動負債合計	255,699	221,415
負債合計	255,699	221,415
純資産の部		
株主資本		
資本金	402,142	418,679
資本剰余金	388,142	404,679
利益剰余金	363,052	674,886
自己株式	-	△377
株主資本合計	1,153,337	1,497,868
新株予約権	24	24
純資産合計	1,153,361	1,497,892
負債純資産合計	1,409,060	1,719,307

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	932,228	1,346,964
売上原価	15,581	23,584
売上総利益	916,647	1,323,379
販売費及び一般管理費	643,244	869,296
営業利益	273,402	454,082
営業外収益		
受取利息	32	5
営業外収益合計	32	5
営業外費用		
株式公開費用	12,712	-
株式交付費	-	669
支払手数料	-	2,400
営業外費用合計	12,712	3,069
経常利益	260,723	451,018
税引前四半期純利益	260,723	451,018
法人税等	86,200	139,184
四半期純利益	174,523	311,833

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

当社は、HR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。